

2020年度第2期コレクション展出品リスト [6月25日(木)～9月6日(日)]

※都合により一部変更が生じる場合があります。

種別	作家名等	作品名	制作年	備考
10階ロビー				
彫刻・立体	湯原和夫	無題00-1	2000年	
彫刻・立体	李禹煥	Relatum-with Four Stones and Four Irons	1986年	
展示室4 近代の日本画				
愛知県美術館の代表的な近代日本画コレクションの中から、美術の近代化が進んでいく明治から昭和初期、主に京都と東京の二大拠点で活動した日本画家たちの作品をご紹介します。				
日本画	川崎千虎	佐々木高綱被甲図	1884年	川崎千春氏寄贈
日本画	幸野煤嶺	南天鷲図	明治25(1892)年頃	木村定三コレクションM1996
日本画	山元春挙	溪村暮霽図	1900年頃	
日本画	橋本閑雪	猿猴待月	1938年頃	
日本画	竹内栖鳳	狐狸図	1908年頃	
日本画	村上華岳	梅溪山道	1914年	
日本画	土田麦僊	南国早春	1915年頃	
日本画	橋本雅邦	秋景山水図	1887年	
日本画	川合玉堂	湖畔晚帰	1928年	
日本画	川端玉章	龍門之図	明治34(1901)年頃	カニエプロバン株式会社寄贈
日本画	横山大観	飛泉	1900年頃	
日本画	菱田春草	紅葉山水	1908年頃	
日本画	安田靉彦	月の兎	1934年	
日本画	中村岳陵	芦に白鷺鶉鶉図	1921年頃	
日本画	小林古徑	洗濯場その1	1926年	
日本画	小林古徑	洗濯場その2	1926年	
日本画	速水御舟	西郊小景	1923年	
日本画	小茂田青樹	漁村早春	1921年	
展示室5 20世紀の色彩				
身近でありながら言葉によって捉えることの難しい色彩の体験は、20世紀の西洋絵画において重要性を増しました。今回の展示では、愛知県美術館のコレクションの核のひとつである20世紀の西洋美術を「色彩」をキーワードにご紹介します。				
絵画	クロード・モネ	セーヌ河の湾曲部 ラヴァクール、冬	1879年	寄託作品
絵画	ポール・ゴーギャン	海岸の岩	1888年	玉谷文男・俣子夫妻からの寄附金による購入
絵画	ピエール・ボナール	子供と猫	1906年頃	
絵画	アンリ・マティス	待つ	1921-22年	中部電力株式会社寄贈
絵画	ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913年頃	
絵画	ラウル・デュフィ	サンタドレスの浜辺	1906年	
絵画	グスタフ・クリムト	人生は戦いなり(黄金の騎士)	1903年	トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入
絵画	パブロ・ピカソ	青い肩かけの女	1902年	株式会社東海銀行寄贈
絵画	エドヴァルド・ムンク	イブセン『幽霊』からの一場面	1906年	寺島八千代氏からの寄附金による購
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	グラスのある静物	1912年	
版画	ジョルジュ・ブラック	小さなキュビスムのギター	1909年(1954年刷)	
版画	ジョルジュ・ブラック	Fox	1911年(1912年刷)	
版画	パブロ・ピカソ	長椅子のレオニー嬢『聖マトレル』	1910年(1911年刷)	
版画	パブロ・ピカソ	レオニー嬢『聖マトレル』	1910年(1911年刷)	
絵画	ライオネル・ファイニン	夕暮れの海I	1927年	
絵画	フランティシェク・クブカ	灰色と金色の展開	1920-21年	
彫刻・立体	アレクサンダー・アーチベニコ	歩く女	1912年	
版画	ラースロー・モホリ=ナジ	コンストラクション『ケストナー版画集6』より	1922-23年	
版画	ラースロー・モホリ=ナジ	コンストラクション『ケストナー版画集6』より	1922-23年	
絵画	ジョセフ・アルパース	正方形頌	1962年	
版画	マン・レイ	長距離『回転扉』	1972年	
版画	マン・レイ	道化『回転扉』	1972年	
絵画	ジョージア・オキーフ	抽象 第6番	1928年	
絵画	マックス・エルンスト	ポーランドの騎士	1954年	
絵画	フランク・ステラ	リヴァー・オブ・ポンズ IV	1969年	
絵画	モーリス・ルイス	デルタ・ミュー	1960-61年	

絵画	サム・フランシス	消失に向かう地点の青	1958年	
絵画	アグネス・マーティン	Untitled #3	1991年	寄託作品
彫刻・立体	イヴ・クライン	アルマン (肖像レリーフ)	1962年	
絵画	ジャン・デュビュッフェ	二人の脱走兵	1953年	
絵画	ニコラ・ド・スタール	コンポジション	1948年	
絵画	アントニ・タビエス	コンポジション	1977年	
彫刻・立体	ルイーゼ・ニーヴェルソン	漂う天界	1959-66年	
彫刻・立体	ジム・ダイン	芝刈機	1962年	
絵画	アンディ・ウォーホル	レディース・アンド・ジェントルメン	1975年	

展示室6 小企画 水谷勇夫と舞踏

名古屋を拠点に活動した画家・水谷勇夫（1922-2005）と舞踏との関係について、大野一雄舞踏公演『蟲びらき』（1988年・東京、1990年・名古屋）の舞台装置を再現と、関連資料の展示により考察します。

舞台装置	水谷勇夫	『蟲びらき』舞台装置	1988年	個人蔵
大道具	水谷勇夫	かれい	1988年	個人蔵
小道具	水谷勇夫	カマキリの杖 (名古屋版)	1990年	個人蔵
小道具	水谷勇夫	カマキリの杖 (名古屋版)	1990年 (2020年、水谷イズルによる再現)	個人蔵
映像	水谷イズル	『蟲びらき』名古屋公演記録映像 (ダイジェス	1990年撮影、2020年編集	個人蔵
資料		水谷勇夫個展・芳名帳	1958年	個人蔵
資料		「土方巽DANCE EXPERIENCEの会」チラシ	1960年	個人蔵
資料		『蟲びらき』チラシ (東京版)	1988年	大野一雄舞踏研究所蔵
資料		『蟲びらき』チラシ (名古屋版)	1990年	個人蔵
絵画	水谷勇夫	『蟲びらき』エスキース	1988年	個人蔵
映像	水谷イズル	『蟲びらき』舞台美術公開制作記録映像 (ダイ	1988年撮影、2020年編集	個人蔵
		ジェスト)		

展示室7 木村定三コレクションの中国陶磁

木村定三コレクションの中国陶磁は、一般的な収集家に人気の高い宋や唐時代の陶磁器には重きを置かず、明時代の壺や鉢、向付や合子など、茶人としての美意識のもとに収集されています。その特色をよく示す作品をご紹介します。

工芸		青磁五管瓶	北宋時代～南宋時代(11世紀～12世紀)	木村定三コレクションM1728
工芸		玳瑁盞天目	南宋時代(12世紀～13世紀)	木村定三コレクションM1137
工芸		青磁印花宝相華唐草文碗	北宋時代(11世紀～12世紀初)	木村定三コレクションM1143
工芸		青花海老形合子 (古染付)	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1515
工芸		青花魚鱗文合子	明時代後期～明時代末(16世紀末～17世紀前半)	木村定三コレクションM1571
工芸		青花双魚文合子 (古染付)	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1506
工芸		青磁舟形香炉 (青磁トキヤロ香合)	明時代後期(17世紀前半)	木村定三コレクションM1570
考古遺物		青磁有蓋小壺	元時代～明時代初(14世紀)	木村定三コレクションM1120
工芸		青磁扇形合子 (青磁開扇香合)	明時代後期(17世紀前半)	木村定三コレクションM1503
工芸		青花花鳥文瓶	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1294
工芸		青花紅葉形三足向付 (古染付)	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1329
工芸		青花山水文割山椒鉢 (古染付)	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1353
工芸		青花五彩群牛図盤 (天啓赤絵)	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1351
工芸		青花八羅漢図八角盤 (古染付)	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1343
工芸		青花巻貝形三足向付 (古染付) 5客	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1480
工芸		青花アラビア文字文盤	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1720
工芸		青花菊花文碗 (古染付)	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1393
工芸		藍釉盤	清時代(18世紀～19世紀)	木村定三コレクションM1335
工芸		青磁双魚文鉢	南宋時代後期～元時代(13世紀後半～14世紀初)	木村定三コレクションM1332
工芸		灰被天目 銘西湖	元時代～明時代 (14世紀後半～15世紀前半)	木村定三コレクションM795
工芸		五彩幾何学文角皿 (天啓赤絵) 5客	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM1471
工芸		五彩花鳥文鉢 (呉州赤絵)	明時代後期～明時代末(16世紀末～17世紀前半)	木村定三コレクションM2237
工芸		褐釉刻花唐草文四耳壺	明時代(15世紀～16世紀)	木村定三コレクションM2211
工芸		黒釉四耳壺	明時代後期(16世紀)	木村定三コレクションM2210
工芸		青花幾何学文碗 (祥瑞手)	明時代末(17世紀前半)	木村定三コレクションM798
工芸		白磁瓢形水注	元時代(14世紀)	木村定三コレクションM1557

展示室 8 没後40年 長谷川潔の銅版画

長谷川潔（1891－1980）は、銅版画の技法を習得するためにフランスに渡り、忘れ去られていた版画技法「メゾチント」を独学で再興させました。1958年以降に制作されたメゾチントの作品では主にオブジェなどが出窓のような空間に配置され、そこには調和した宇宙の摂理を感じられます。

版画	長谷川潔	プロヴァンスの古市(グラス)	1925年	
版画	長谷川潔	サン・ポール・ド・ヴァンスの村	1929年	
版画	長谷川潔	アレクサンドル三世橋とフランスの飛行船	1930年	
版画	長谷川潔	摩天楼上空のボアン・ダンテロガシオン号	1930年	
版画	長谷川潔	シャトー・アルヌーの寺院	1932年	
版画	長谷川潔	オランジュと葡萄	1932年	
版画	長谷川潔 (挿画)	仏訳『竹取物語』	1933年	
版画	長谷川潔	アネモネ	1930年	
版画	長谷川潔	コクリコと野花 (B)	1932年	
版画	長谷川潔	野の枯草	1931年	
版画	長谷川潔	二つのアネモネ	1934年	
版画	長谷川潔	花(切子グラスに挿したアネモネと草花)	1944-45年	
版画	長谷川潔	コップのダリア	1935年	
版画	長谷川潔	三つのアネモネ	1937年	
版画	長谷川潔	サン・ポール・ド・ヴァンスの風景	1936年	
版画	長谷川潔	一樹 (ニレの樹)	1941年	
版画	長谷川潔	フレジュスの古代ローマの燈台	1952年	
版画	長谷川潔	アカシアの老樹	1954年	
版画	長谷川潔	木と月	1954年	
版画	長谷川潔	再生したる林檎樹	1956年	
版画	長谷川潔	野辺小禽	1957年	
版画	長谷川潔	小鳥と胡蝶	1961年	
版画	長谷川潔	小鳥と落葉	1959年	
版画	長谷川潔	瓶の秋草(ピエ・ド・シェーブル)	1959年	
版画	長谷川潔	コップに挿した種子草	1961年	
版画	長谷川潔	静物	1958年	
版画	長谷川潔	薔薇と封書	1959年	
版画	長谷川潔	人形のある静物	1960年	
版画	長谷川潔	骰子独楽と幸福の星	1961年	
版画	長谷川潔	飾り棚のオブジェ	1962年	
版画	長谷川潔	幾何学的鐘型と宇宙方程式	1962年	
版画	長谷川潔	飼い馴らされた小鳥 (西洋将棋など)	1962年	
版画	長谷川潔	酒杯の草花	1963年	
版画	長谷川潔	砂漠の薔薇と海の星	1964年	
版画	長谷川潔	ジロスコープのある静物画	1966年	
版画	長谷川潔	狐と葡萄(ラ・フォンテーヌ寓話)	1963年	
版画	長谷川潔	小鳥と二つの枯葉	1964年	
版画	長谷川潔	本の上の小鳥 静物画	1967年	
版画	長谷川潔	メキシコの鳩 静物画	1966年	
版画	長谷川潔	コップに挿したアンコリの花 (過去・現在・未	1965年	
版画	長谷川潔	メキシコの種子草 静物画	1967年	

前室 2

彫刻・立体	福田尚代	書物の雲	2009-10年	黒川公二氏寄贈
彫刻・立体	福田尚代	翼あるもの『エミリーはのぼる』	2003年	黒川公二氏寄贈
彫刻・立体	加藤孝一	すもう	制作年不詳	木村定三コレクションM703
彫刻・立体	堀内正和	とぶ円筒	1960年	

プラスキューブ

ヒップホップ・アーティストOMSBとBimが、2日間で一つの楽曲を制作する過程を追った映像作品です。普通のマンションの一室で交わされる軽いやり取りの中からトラックが生まれ、言葉がつづられ、やがて一つの音楽となります。その様子からは普遍的な創作の楽しさ、喜びが感じられます。

映像	三宅唱	THE COCKPIT	2014年	愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品
----	-----	-------------	-------	----------------------------

10階屋上庭園（レストラン脇）				
彫刻・立体	アルナルド・ボモドーロ	飛躍の瞬間	1984年	財団法人日本宝くじ協会寄贈

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）				
彫刻・立体	コルネリス・ジットマン	カリブの女	1983年	
彫刻・立体	加藤昭男	大地	1986年	
彫刻・立体	小田 襄	円柱の構造	1988年	

屋外展示スペースⅡ（10階）				
彫刻・立体	今井瑾郎	大地	1992年	

12階アートスペースロビー				
彫刻・立体	舟越保武	花を持つ少女	1966年	